

近江八景（文部省唱歌）（F）

♩=92

(X3)

F

C7

F

Dm

C7

/C#

5

Dm

Gm

C7

F

C7

F

9

C7

F

Bb

F

Intro.

13

C7

Bb

F

C7

F

1. 三井寺(みいでら)の鐘の音(ね) 澄み渡る夕ぐれ
初雁(はつかり)も堅田(かたた)に 声たてて落ち来(き)ぬ
ひとり立てる 唐崎(からさき)の老松(おいまつ)
雨か 波か 淋しげに響くは
2. 今もなお身にしむ 栗津野(あわづの)の秋風
いずかたぞ 昔の 兼平(かねひら)の石碑(いしぶみ)
瀬田(せた)の夕日 とこしえに淋しく
比良(ひら)の暮雪(ぼせつ) いつ見ても美し
3. 月の影さやかに 澄み昇る石山(いしやま)
千代(ちよ)かけてしのぶは 紫(むらさき)のその筆
山田 矢走(やばせ) 見え渡る名どころ
さして帰る 舟の帆も三つ四つ

近江八景 (文部省唱歌) (原調)

♩=92

(X3)

G

D7

G

Em

D7

/D#



1. 三井寺(みいでら)の鐘の音(ね) 澄み渡る夕ぐれ
初雁(はつかり)も堅田(かたた)に 声たてて落ち来(き)ぬ
ひとり立てる 唐崎(からさき)の老松(おいまつ)
雨か 波か 淋しげに響くは
2. 今もなお身にしむ 栗津野(あわづの)の秋風
いずかたぞ 昔の 兼平(かねひら)の石碑(いしぶみ)
瀬田(せた)の夕日 とこしえに淋しく
比良(ひら)の暮雪(ぼせつ) いつ見ても美し
3. 月の影さやかに 澄み昇る石山(いしやま)
千代(ちよ)かけてしのぶは 紫(むらさき)のその筆
山田 矢走(やばせ) 見え渡る名どころ
さして帰る 舟の帆も三つ四つ

